

令和2年8月17日(月)午後1時30分より開催しました第2回の委員会では、特別支援学校のニーズ把握に向けて実施するアンケートの趣旨、対象者、実施スケジュール、アンケート内容等について説明しました。

また、候補地4エリアの検討にあたり、検討条件、選定基準、比較検討表について説明し、各エリアの特徴を情報共有しました。



○アンケートの実施

児童生徒及び児童発達支援を利用する未就学児の保護者等に対して意向調査を実施するにあたり、アンケート調査を実施します。

アンケートの結果は、候補地の選定や学校規模の検討において反映する予定です。



【アンケートの例】

●児童生徒ご本人について【全員がご回答下さい】

問1 性別と年齢をご記入下さい。

性別	<input type="text"/>	年齢 (R2年4月2日時点)	<input type="text"/> 歳
----	----------------------	----------------	------------------------

問2 お住まいの地域であてはまるものに○をつけて下さい。

1. 那加中学校区	3. 稲羽中学校区	5. 鵜沼中学校区	7. 蘇原中学校区
2. 桜丘中学校区	4. 川島中学校区	6. 緑陽中学校区	8. 中央中学校区

問3 障がいの種別であてはまるもの全てに○をつけて下さい。

(複数あてはまる場合は、主たる障がいに◎、それ以外に○をつけて下さい。)

1. 視覚障がい	3. 肢体不自由	5. 知的障がい
2. 聴覚障がい	4. 病弱	6. その他 ( )

問4 お持ちの手帳の種類や等級など、障がいの程度であてはまるもの全てに○をつけて下さい。

1. 身体障害者手帳	1級	2級	3級	4級	5級	6級
2. 療育手帳	A1	A2	B1	B2		
3. 精神障害者保健福祉手帳	1級	2級	3級			
4. 手帳は取得していないが診断を受けている						診断名 ( )
5. 手帳も診断もない						

○候補エリアについて

候補エリアの案について情報共有し、それぞれの案について意見を交換しました。

以下に会議における主な意見を記載します。

- ✓ 近くに学校があるのは良い。
- ✓ 学校に通じる道も含めて防災性を重視した場所に作って欲しい。
- ✓ 利便性があり、市民の人たちが生活している場所の中に学校があると良い。
- ✓ 朝の渋滞など、乗り降りの際に学校周辺で渋滞が起らないような検討が必要。
- ✓ 基本的にフラットな造り・土地が望ましい。
- ✓ Cエリアの線路の近くは避けたい。

候補地		A	B	C	D
所在地		中央小中学校、 東海中央病院 周辺	鵜沼中学校、鵜沼市民サービスセンター周辺	鵜沼第一小学校、名鉄鵜沼駅周辺	稲羽中学校、航空宇宙博物館周辺
指標	項目	配点	配点	配点	配点
防災性	危険区域の有無(ため池)	10	0	0	10
	危険区域の有無(洪水)	10	10	10	0
	危険区域の有無(土砂)	10	0	10	0
利便性・安全性	公共交通の有無	5	5	5	2.5
	通学経路の安全性	15	7.5	0	7.5
	危険埋蔵物等の有無	5	10	10	10
周辺環境	緑地等の有無	0	4	0	2
	騒音、振動、臭気等	4	8	8	0
	風俗・娯楽施設等の有無	8	8	0	8
地域交流	学校の有無	3	1.5	1.5	1.5
	保育園・幼稚園の有無	2	2	2	0
	高齢者施設の有無	0	2	2	0
敷地条件	医療機関、福祉施設等	3	1.5	0	0
	正方形に近い用地確保	10	10	10	10
	拡張性	5	10	10	5
事業性	造成工事の必要性	0	0	0	10
	建物補償の有無	5	10	10	5
	合意形成	0	10	10	10
将来性	地権者等との合意形成	0	10	10	10
	都市計画	10	10	5	10
総評		105.0	109.5	93.5	91.5
		○	◎		

委員会の様子やかわら版のバックナンバーについて、市ウェブサイトにて公開中！  
QRコードはこちらから⇒  
委員会は公開していますので、10名まで傍聴可能です。(10名を超える場合は抽選)



【お問合せ先】

各務原市役所 教育委員会事務局 教育施設整備推進室

電話：058-383-7302 (直通)